

PTA 学級委員制度に関する提案への意見と回答について

●ご意見

親子としての行事と比べると、企画側と招待される側としての行事では、親子活動としての意義は少しずれるように感じました。（生活科などの参観とのちがいは？）親が手を引く分、今ある学習＋企画などの準備となるので、子どもや学校の負担になってはいけないと思います。

学校としての回答



【親子活動の意義について】

ご意見、ありがとうございます。本校では親子活動の意義を、「親と子がふれあい、交流すること」と認識しております。新設する秦西まつりにおいては、保護者の皆様にも、ブースの開設が呼びかけ、招待されるだけでなく、企画側としても、子どもたちと交流できる機会になればと願っております。

【子どもや学校の負担について】

次年度、本校では、「自律的な児童の育成」に力を入れようと話し合っております。自律的に行動するためには、「自ら考え、自己決定し、自分で決めたことに責任ある行動をとる」ことが必要です。その機会が、「秦西まつり」だと考えています。「おうちの人や地域の人、友達を楽しませる」という目的のもと、学級ごとに児童がアイデアを出し合い、話し合いによって合意形成し、自分たちの決めたことを協力しながら実行する。ここが指導内容の決まっている教科学習との大きな違いです。しかし、このような意図ある活動でも、ご指摘いただきました通り、子どもや学校の負担となっては意義が薄れます。よって、今回の提案が書面表決で採択された場合は、具体的実施方法や実施時期について慎重に考え、大きな負担とならない方策を検討いたします。ご意見、ありがとうございました。

●ご意見

PTA 活動がなくなるにせよ、家庭と学校とがどのように関わっていくかを考える必要があるのではないのでしょうか？

学校としての回答



ご意見ありがとうございます。ご意見の通り、家庭と学校との関わり方については、今後も PTA と学校とでよりよい形を模索していきます。また、今回の提案は学級委員制度に対する提案であり、PTA 活動（人権研修部・健康安全部・施設部・広報部の各活動）は従来通り継続いたします。